

明治大学文学部 第9回読書感想文コンクール

あなたの感想が本になります！

募集要項

●課題図書

1 『愛と死』 武者小路実篤 主人公村岡と夏子の恋愛の心情と、その結末を受けた主人公の感情と回顧。読者は何を読み取り、感じるだろうか。	6 『想像ラジオ』 いとうせいこう 東日本大震災から6年、私たちは亡くなった人びとの声をどのように想像し、つながっていくことができるのだろうか。
2 『アンティゴネ』 ソポクレス 国に背いて果てた兄を葬ることは国法を侵すことだったが、あえて妹は処刑覚悟で葬儀を営む。国家か、肉親の義務か。今に通じる悲劇の傑作。	7 『ポールとヴィルジニー』 ベルナルダン・ド・サン＝ピエール インド洋の孤島を舞台に、可憐で、悲しく、美しい純愛小説。ナポレオンが枕頭の本として、読むたびに涙したという逸話は有名。
3 『キャスターという仕事』 国谷裕子 ニュースを「わかりやすく」伝えるだけでよいのか？NHK「クローズアップ現代」での経験を踏まえた問題提起をどうよむか。	8 『朗読者』 ベルンハルト・シュリンク かつて愛した女性は戦争犯罪者だった。人はなぜ罪を犯すのか、そして罪とどう向き合うべきかを深く考えさせる作品。
4 『銀二貫』 高田郁 江戸時代の大坂が舞台。仇討ちで父をなくした武士の子が、周りの人々に支えられつつ一人前の商人として成長していく物語。	9 『我が詩的自伝 素手で焔をつかみとれ！』 吉増剛造 世界的に活躍する詩人の語りおろし自伝。何が、どのような経路で詩人に創作を促すのかを、各時代の雰囲気とともに追体験できる。
5 『少年期の心』 山中康裕 思春期までの少年少女の様々な事例に誠実に向き合った児童精神科医の目を通し、『カウンセリングマインド』の本質を学べる好著。	10 『わが町』 ソーントン・ワイルダー とりたてて事件の起こらない生活のなかで、人々の喜怒哀楽を通して日常の大切さを実感させる解り易い戯曲。映画化された名作。

●応募資格 高校生および社会人

●応募内容 課題図書から1冊を選び、1200字以内で読書感想文を書いてください。応募は未発表の原稿で1人につき1点にかぎりませす。

●応募形式 応募用紙（表紙）は文学部ホームページよりダウンロードしてください。本文はA4サイズの400字詰原稿用紙3枚以内に「縦書き」で記入のうえ、郵送してください。応募作品は返却しません。いただいた個人情報、本賞選考以外には許可なく使用いたしません。応募用紙のダウンロードが出来ない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

●優秀賞 100名(高校生部門、社会人部門合わせて)
賞状ならびに作品集の贈呈、副賞として図書カード3,000円分。
選考結果は10月初旬、受賞者に郵送し、文学部ホームページに発表します。
優秀者全員の感想文は、作品集「読むことの喜び」として単行本になります。
作品集は受賞者ならびに各高等学校や図書館に寄贈します。
作品の著作権については明治大学に帰属することとします。

●締切 2017年 8月 4日（金） 消印有効

●表彰式 2017年11月18日（土） 於 明治大学駿河台キャンパス